



# RST コマンド

この章では、Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15310-CL、ONS 15310-MA、および ONS 15600 の restore (RST) コマンドについて説明します。

## 20.1 RST-<MOD2>

(Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15310-CL、ONS 15310-MA、ONS 15600) 10GFC、10GIGE、1GFC、1GFICON、2GFC、2GFICON、CLNT、DIVIDEO、DS1、DV6000、E1、E3、E4、EC1、ESCON、ETRCLO、FSTE、G1000、GFPOS、GIGE、HDTV、ISC1、OC12、OC192、OC3、OC48、OCH、OMS、OTS、POS、STS1、STS12C、STS18C、STS192C、STS24C、STS36C、STS3C、STS48C、STS6C、STS9C、T1、T3、VC12、VC3、VT1、VT2 の Restore (RST-<MOD2>) コマンドは、ファシリティをサービスにプロビジョニングします。

### 使用上のガイドライン

プラットフォーム別にサポートされる修飾子については、[表 27-1 \(p.27-1\)](#) を参照してください。



(注)

このコマンドは、Out of Service and Maintenance (OOS, MT; アウト オブ サービス、メンテナンス) ステートのポートに対してのみ実行できます。

### カテゴリ

ポート

### セキュリティ

メンテナンス

### 入力形式

RST-<MOD2>:[<TID>]:<AID>:<CTAG>:::[<PST>][<SST>];

### 入力例

RST-EC1:CISCO:FAC-1-1:1:::IS,AINS;

入力パラメータ	<AID>	アクセス ID (「25.1 ALL」 [p.25-2] を参照)
	<PST>	プライマリ ステート。デフォルトは IS です。パラメータ タイプは PST で、エンティティの現在の全体的なサービス状態を示します。
	• IS	イン サービス
	• OOS	アウト オブ サービス
	<SST>	セカンダリ ステート。デフォルトは AINS です。パラメータ タイプは SST で、PST および PSTQ に関する詳細情報を提供します。
	• AINS	自動インサービス
	• DSBLD	ディセーブル
	• LPBK	ループバック
	• MEA	機器のミスマッチ
	• MT	メンテナンス
	• OOG	アウト オブ グループ
	• SWDL	ソフトウェアのダウンロード
	• UAS	未割り当て
	• UEQ	未装着

## 20.2 RST-EQPT

(Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15310-CL、ONS 15310-MA、ONS 15600) Restore Equipment (RST-EQPT) コマンドは、機器をメンテナンス (MT) ステートからイン サービス (IS) ステートにプロビジョニングします。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、MT ステートから IS ステートへの遷移中の機器にのみ適用されます。

**カテゴリ** 機器

**セキュリティ** メンテナンス

**入力形式** RST-EQPT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>[::];

**入力例** RST-EQPT:CISCO:SLOT-1:1;

**入力パラメータ** <AID> アクセス ID (「25.14 EQPT」 [p.25-32] を参照)